

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110020	X-01-A-1-110020	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
担当教員				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
金融論	牧野 智一			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	1年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	1年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年		

授業目的

金融論とは、貨幣に関する様々な経済現象について考える学問である。金融というと銀行などの金融機関を想像すると思われるが、金融論では企業活動や私たちの生活に貨幣が及ぼす影響や日本銀行（中央銀行）が実施する金融政策の効果について理論を中心に学んでいく。本講義の最終的な目的は、金融に関する理論について身につけた上で、実際に日本で実施される金融政策が私たちの生活や社会に及ぼすであろう影響を自らの判断で考察する能力を養うことである。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 イントロダクション 【前・後】 【予習復習に2時間】 テキスト第1章</p> <p>第2回 【授】 貨幣の役割 【前・後】 【予習復習に3時間】 テキスト第2章1</p> <p>第3回 【授】 貨幣の定義 【前・後】 【予習復習に3時間】 テキスト第2章2-3</p> <p>第4回 【授】 貨幣と物価の関係 【前・後】 【予習復習に3時間】 テキスト第2章4-5</p> <p>第5回 【授】 金利の重要概念 【前・後】 【予習復習に4時間】 テキスト第3章1-2</p> <p>第6回 【授】 利率の決定要因 【前・後】 【予習復習に4時間】 テキスト第3章3-4</p> <p>第7回 【授】 利率と債券価格 【前・後】 【予習復習に4時間】 テキスト第3章5</p> <p>第8回 【授】 信用創造メカニズム 【前・後】 【予習復習に4時間】 テキスト第7章2、3</p>	<p>第9回 【授】 金融政策の手段①（伝統的政策手段） 【前・後】 【予習復習に4時間】 テキスト第6章1</p> <p>第10回 【授】 金融政策の手段②（マイナス金利） 【前・後】 【予習復習に4時間】 テキスト第6章1</p> <p>第11回 【授】 貨幣市場の分析①（貨幣供給） 【前・後】 【予習復習に5時間】 テキスト第4章1</p> <p>第12回 【授】 貨幣市場の分析②（貨幣需要） 【前・後】 【予習復習に5時間】 テキスト第4章1</p> <p>第13回 【授】 金融政策の効果の分析①（短期：IS-LMモデル） 【前・後】 【予習復習に5時間】 テキスト第4章3</p> <p>第14回 【授】 金融政策の効果の分析②（長期：貨幣数量説モデル） 【前・後】 【予習復習に5時間】 テキスト第4章2</p> <p>第15回 【授】 課題 【前・後】 【予習復習に5時間】 テキストやノートを参考に課題に取り組むこと。</p> <p>第16回 【授】 テスト 【前・後】 テキストやノートを活用し、復習をしっかりとってテストに臨むこと。</p>
---	---

成績評価方法

【成績評価】 期末試験（70%）、授業の参加意欲（30%）を合わせて総合的に判断する。
【フィードバックの方法】 試験結果の点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。

教科書・参考書

家森信善(2016)『金融論（ベーシック+）』中央経済社

受講に当たっての留意事項

新聞やテレビなどにより経済関係のニュースにも関心を持ち、講義内容が自分たちに深い関わりがあることを理解して講義に臨むこと。

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
×		×

学習到達目標

金融の理論的知識を習得することと金融政策の効果と現状について考察できる能力が身に付くことを目標とする。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習